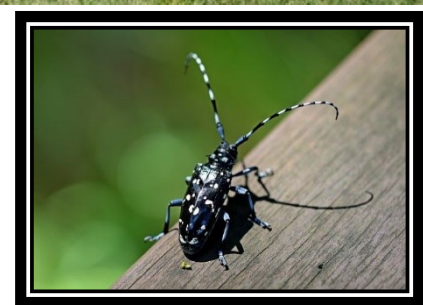




キクイムシ 注



コウモリガ



カミキリムシ

穿孔性害虫の食入や産卵防除には !!

サッチューコート® Sセット

適用害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	MEPを含む農薬の総使用回数
みかん	カミキリムシ類	50倍	産卵時期、但し、 収穫14日前まで	1回	樹幹部 及び主枝に 散布または 塗布	5回以内 (樹幹処理は1回以内)
なつみかん			産卵時期、但し、 収穫120日前まで			3回以内 (樹幹処理は1回以内)
くり	コウモリガ	15倍	幼虫食入期直前～ 幼虫食入初期、 ただし収穫90日前まで			4回以内 (樹幹処理は1回以内)
	キクイムシ類	15倍	産卵時期 ただし収穫90日前まで			
	カミキリムシ類	50倍	産卵時期 ただし収穫60日前まで			



製剤・製造元
米澤化学株式会社

注:「キクイムシ」『フリー百科事典 ウィキペディア日本語版』
2021年1月18日(月)9:00 UTC, URL: <https://ja.wikipedia.org>

サッチューコート®Sセット

特長

1. 有機リン剤で残効性が短いものを、残効性を持たせるように調製した薬剤です。約1ヶ月くらいの残効があります。
2. 穿孔性害虫のカミキリムシなどを防除する殺虫剤であり、殺幼虫、殺卵効果が高い薬剤です。
3. カラー粉を加用することで白色に付着し、処理した箇所が明白で、日焼け防止の効果もあります。

有効成分：MEP・・・15%

規格：1セット(乳剤350ml1本+カラー粉2kg)

使用手順



① 必要水量、サッチューコートSセット乳剤・カラー粉を用意してください。

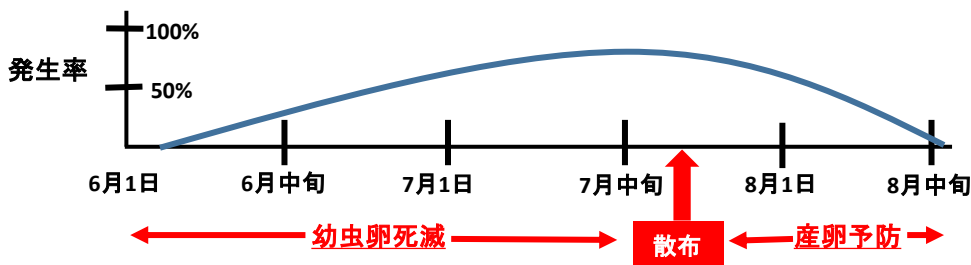
② *1 必要量のサッチューコートSセット乳剤を水に入れよく攪拌してください。

③ *2 必要量のカラー粉を少しずつ混ぜながら入れ、十分攪拌してください。

*3 成虫の産卵または幼虫の食入する直前に樹幹部及び主枝に、噴口の大きい噴霧器で散布するか、ハケで塗布してください。

- *1・・・適用害虫の範囲及び使用方法の希釈倍数に合わせた使用をしてください。
- *2・・・本剤の原液100mlに対し約600g(約6倍量)のカラー粉を目安として使用してください。
- *3・・・害虫の発消長は、樹種・害虫の種類及び地域により異なりますので、地域に適した時期に使用してください。
みかんのゴマダラカミキリ(標準の発消長事例)としては、下記のとおりとなります。

みかんゴマダラカミキリ(標準の発消長)施用事例 (あくまで参考としてください)



● 7月中下旬に処理すると処理前の幼虫・卵を殺し処理後約1ヶ月の産卵予防ができます。

使用上の注意事項

- ① 使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ってください。
- ② 他の農薬との混用はさけてください。ボルドー液と混用する場合は散布直前に行ない、出来るだけ早く使用してください。ただし、その他のアルカリ性の強い農薬との混用はさけてください。
- ③ 本剤は、残効性が短く使用時期を失すと効果が劣るので、適期に使用するよう注意してください。みかん、夏みかん、くりのカミキリムシ類の防除では6~7月の産卵最盛期直前、くりのクイムシ類防除には萌芽直前(産卵初期)が使用の適期です。
- ④ くりのコウモリガに対しては幼虫食入期直前~幼虫食入初期に1.5~2m迄の主幹及び主枝に十分量散布または塗布してください。
- ⑤ 生育期の散布の場合は葉にかかると薬害を生じるおそれがあるのでかからないように樹幹部や主枝だけに散布してください。
- ⑥ あぶらな科作物には薬害を生じるおそれがあるので、付近にある場合にはかからないように注意して散布してください。
- ⑦ 調製した散布液はそのまま放置せずなるべく早く使用してください。
- ⑧ 使用の際、調製液を噴霧器に入れて散布するときは、やや噴口の大きい物を使用してください。
- ⑨ 本製品を希釈調製した白色調製液は、攪拌しながら散布してください。

安全上の注意事項

- 誤飲などに注意してください。
- 本剤の解毒剤としては硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤が有効であると報告されています。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン、長袖の作業衣などを着用してください。作業後は、直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

魚毒性・・・水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがありますがこの登録に係る使用方法では問題ありません。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器空袋等は、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管・・・火気を避け、直射日光が当たらない低温な場所に密栓して保管してください。

お問合せ先

米澤化学株式会社

本社 京都府京都市南区唐橋芦辺町14番地

TEL:075-681-9536

FAX:075-681-7377

HP: <http://www.yonezawa-chemical.co.jp/>